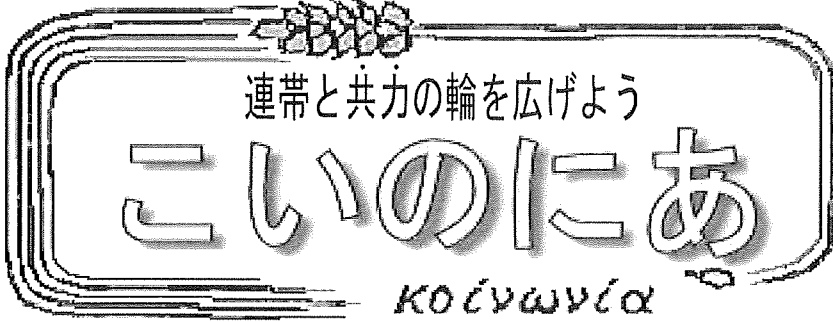




連帯と共力の輪を広げよう

こいのにあ

KOINOIWA

「こいのにあ」は、「交わり」という意味のギリシャ語です。
一麦福祉会とそれを支援して下さる方々との「交わり」が深められる場となることを願っています。福祉会への語りかけをお待ちしています。

第28号 2013年7月22日発行

一麦福祉会 〒347-0034 埼玉県加須市常泉 536-1
Tel: 0480 (65) 1759 <http://www.works-migiwa.com/>

障害者総合支援法施行と「みぎわ」のこれから

1. 自立支援法から総合支援法へ

2006年に施行された「自立支援法」はサービスの利用に際して、従来の「応能負担」(利用者やその世帯の所得に応じた負担)から「応益・定率負担」(利用者が受けたサービス量と所得に応じた原則1割負担)に変更され、利用者の負担が増えましたが、これに対して、「日本国憲法が保障する生存権を脅かす」という違憲訴訟もあり、負担軽減を図るために「自立支援法」は2010年に改正されました。

このように問題を内包していた「自立支援法」は廃止を前提にして、新たな「総合的な福祉法制」が実施されることになっていました。しかし、昨年6月に成立した「総合支援法」(本年4月から施行、一部は来年4月施行)は新旧対照表が付されていることから分かるように、実態は「自立支援法」の改正法として成立した法律と言わざるを得ないものです。

2. 総合支援法の改正点

主要改正点は6項目に亘りますが、そのうちの「障害者支援区分への名称変更・定義改正」は「自立支援法」で用いられた“障害程度区分”が「障害の程度(重さ)」ではなく、「本来必要とされる標準的な支援の必要の度合いを示す区分」であったために分かりにくかったということを踏まえ、「障害支援区分」に改められます。これらの区分認定は公正・適切に行われることが求められますので、その基準となる区分制定を慎重に行うため、実施は来年(2014年)4月からとなります。

3. 総合支援法施行と「みぎわ」

総合支援法への改訂が「みぎわ」に及ぼす影響は今年度は具体的にはありませんが、前項で説明した「障害支援区分」がどのような基準で区分され、認定されるかについては

注意深く見守ることが大切です。

また、「共同生活介護(ケアホーム)の共同生活援助(グループホーム)への一元化」が同じく来年度から実施されます。これは障害程度区分により“介護”と“援助”に分けられていたものを、“援助”(グループホーム)に統合するというものです。「ケアホーム」では障害程度区分に応じた「報酬単価」が支払われていましたが、「グループホーム」に統合されると単一の報酬単価である「訓練等給付」になることが想定され、新たな報酬体系はどのようなものになるのかも見逃すことが出来ません。

4. 「みぎわ」の現状とこれから

福祉行政がこのように変化する中で、「みぎわ」は7月1日、開所18年目を迎えました。利用者には大きな動きはありませんが、運営する側には昨年6月の丹羽前理事長の急逝以来、人事面で目まぐるしい動きがありました。7月に新米の後任理事長が就任、11月にKさんを採用、施設長交替を見越して2月にMさんを採用、3月末には雇用延長契約満了でTさんが退職、その交替として新卒のSさんを採用、K施設長も契約満了で4月よりE施設長に交替しました。

新施設長体制移行から4カ月目ですが、それぞれが引き継いだ業務を何とかこなせる様になったところで、これから力を合わせて、少しずつパフォーマンスを高めるべく努力を重ねている段階です。

運営体制の刷新と並行して、丹羽前理事長の宿望でもありました「グループホーム」建設に向けての検討委員会が活動を開始しています。建設用地の確保が喫緊の課題ですが、開設後はサービスの中心となる人材の確保如何で、サービスの質が決まりますので、数年越しの取り組み課題に

なりますが、皆様にも覚えて頂きたい事柄です。

5. 本年度の収支見通し

新年度を迎えて早々に、『9割保障』廃止に伴う特別支援のお願い」を致しましたが、皆さまからの温かいご配慮とご協力により、5月、6月と昨年を大幅に上回るご支援をお寄せ頂いており、この紙面をお借りしても心からのお礼を申し上げます。来月初めの理事会において、6月までの収支状況を踏まえた、補正予算を審議する予定ですが、予定した費用の削減と追加のご支援も含めた増収策により、一定の見通しを立てることが出来ると見越しております。

6. 最後に

グループホーム検討委員会では、既にホームを開設して、運営しておられる諸団体の見学を精力的に行っておりますが、何れのところも様々な工夫をしておられ、沢山の収穫を得ることができております。中でも、地域との結びつきを大切にしておられることは共通しています。グループホーム建設に当っては地域との良好な関係を保つことが最大のポイントと言っても過言ではありません。近隣とのこれまで以上の交流を図って行きたいと願っております。ご支援も引き続き宜しくお願い申し上げます。 おだにのりあき(理事長)

原点を守るために

一麦福祉会 理事
須藤 繁

みぎわは、今年の春、支援費の9割保障廃止という激震に襲われ、一時はどうなるかと思いましたが、4月から3ヵ月が過ぎて、何とか資金不足の問題は乗り越えられる見通しがつき、本当にホットしているところです。

この問題については、理事会としても、支援費の9割保障の廃止を見通せなかったことをまことに申し訳ないと思っています。しかし、この問題に直面したおかげで、私達はもう一度みぎわの原点というものを振り返ることが出来ました。

その原点は、毎年の事業報告にも載せているのですが、「障がいを持っている人達が差別をうけることなく社会に参加し、平等な権利を持ち、共に義務を果たしていくことのできる社会を築きたい、そのために障がい者達がそれぞれに与えられた能力を発揮し、その人間性を深め、その生の内容を豊かにすることのできる場、それも地域社会に溶け込んだ場を作りたい。」というものです。小々抽象的ですが、これを私流に翻訳すると、たとえば利用者一人一人の才能を活かすための木工作业と作業内容の多様化、利用者の大きな楽しみとなる食堂の設置、利用者の交わりのための旅行、クラブ活動や様々なレクリエーションの実施、地域との交流のための奉仕活動、まきばの開業、利用者の自立に役立つ自治会活動、将来の自立のためのグループホームの計画推進、そして、これらをより良く実現するための職員の増員などがこれに当たっていると思います。これらは、支援法が障がい者の職業的自立や経済的効率を強く求めるようになって、みぎわとしては、なんとか守って行きたい原則であり、活動だと思っています。

私達理事は、今回の問題解決にあたって、この原点に照らして、できるかぎり職員の削減はしない、食堂も残すと考えました。そのかわり、これまでの積立金を取り崩し、足りないところは、理事、評議員はもとより、職員、保護者、支援者の方々などみぎわを支えて下さっている方々の応援をお願いすることにしました。幸い皆様のご理解とお願いがけないほどのご支援を得て、最初に述べたように、この1年は何とか危機を乗り越えられる見通しになりました。しかし、とりわけ職員の方々にいつまでも大きな負担を負って頂くわけにはいきません。ですから、私達はこの1年の間にさらに知恵を絞って、堅実な財政計画を立てなければなりません。私達も出来る限りの努力をしますので、職員、保護者、支援者の方々にもさらにご協力を頂いて、このみぎわが利用者にとって生きることの喜びを覚えることのできる場になるよう心から願っています。

(理事長職務代理)

2012年度一麦福祉会・一麦運営協力会会計収支報告

社会福祉法人一麦福祉会資金収支計算書(2012年4月1日～2013年3月31日)

勘 定 科 目		合 計	本 部	就労支援
事業 活動	就労支援事業収入	4,505,750	0	4,505,750
	障害福祉サービス等事業収入	52,542,532	0	52,542,532
	借入金利息補助金収入	189,000	0	189,000
	経常経費寄付金収入	4,127,334	350,000	3,777,334
	受取利息配当金収入	141,174	6,235	134,939
	その他の収入	754,600	0	754,600
	人件費支出	45,881,160	0	45,881,160
	事業費支出	4,215,261	0	4,215,261
	事務費支出	4,601,369	338,860	4,262,509
	就労支援事業支出	4,407,329	0	4,407,329
	支払利息支出	252,000	0	252,000
	事業活動資金収支差額(1)	2,903,271	17,375	2,885,896
施設 整備	施設整備等寄付金収入	0	0	0
	固定資産売却収入	0	0	0
	設備資金借入金元金償還金支出	2,000,000	0	2,000,000
	固定資産取得支出	270,900	0	270,900
	施設整備等資金収支差額(2)	△2,270,900	0	△2,270,900
その 他	投資有価証券売却収入	0	0	0
	積立資産取崩収入	0	0	0
	預金資産支出	7,015	6,016	999
	財務活動資金収支差額(3)	△7,015	△6,016	△999
当期資金収支差額合計(1)+(2)+(3)		625,356	11,359	613,997

社会福祉法人一麦福祉会貸借対照表(2013年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	残 高	科 目	残 高
流動資産	28,764,576	流動負債	4,082,035
現金預金	16,824,136	事業未払金	1,342,928
事業未収金	8,801,030	一年以内返済予定設備資金借入金	2,000,000
商品・製品	2,420,200	預り金	524,110
原材料	507,867	職員預り金	214,997
その他流動資産	211,343		
固定資産	146,174,197	固定負債	8,463,760
基本財産	106,967,674	設備資金借入金	4,000,000
基本財産土地	41,732,031	退職給付費引当金	4,463,760
基本財産建物	64,235,643	負債の部合計	12,545,795
基本財産特定預金	1,000,000	純 資 産 の 部	
その他固定資産	39,206,523	基本金	72,905,919
機械及び装置	59,214	国庫補助金等特別積立金	41,671,326
車両運搬具	665,613	その他の積立金	31,307,015
器具及び備品	287,021	移行時特別積立金	4,700,000
ソフトウェア	441,000	運転資金積立金	6,400,999
投資有価証券	1,982,900	工賃変動積立金	200,000
退職給付引当資産	4,463,760	建物等建築準備積立金	20,006,016
移行時特別積立資産	4,700,000	次期繰越活動収支差額	16,508,718
運転資金積立資産	6,400,999	(うち当期活動収支差額)	△33,555,168
工賃変動積立資産	200,000	純資産の部合計	162,392,978
建物等建築準備積立資産	20,006,016	負債及び純資産の部合計	174,938,773
資産の部合計	174,938,773		

一麦運営協力会会計収支 (2012年1月1日～2012年12月31日)

一麦基金繰入	828,045	会費または寄付金	4,532,479
施設援助金	3,653,334	利子	136
事務費支出	10,854	雑収入	115,234
事業費支出	155,616	収入合計	4,647,849
支出合計	4,647,849	収支残高	0

みんなで持ちよれば、ささやかな希望もあられる希望。小さな夢も無限の夢。



2012年7月1日～2013年7月15日までに、運営協力会費または寄付金、物品をお寄せくださった方々、ボランティアで労力の奉仕をしてくださった方々のお名前です。ご支援、ご協力をありがとうございました。

青田 隆子 様
 青山 充英 様
 あけぼの園 様
 浅野 のぶ子 様
 アジア学院 様
 荒井 眞 様
 飯塚 卓雄 様
 五十嵐 麗子 様
 井草 和子 様
 池田金型工業 様
 池田 次夫 様
 石川 広美 様
 石毛 綾子 様
 板橋 俊典 様
 市瀬 友理 様
 井手 幸男 様
 伊藤 眞美 様
 犬塚 豪・靖子 様
 井上 建二 様
 今井 義雄 様
 井村 真澄 様
 伊豫田 純彦・しのぶ 様
 岩川 靖子 様
 内田 敏子 様
 内田 栄司 様
 宇都木 伸 様
 宇都 月江 様
 梅田 誠 様
 税理士法人
 英智幸手事務所 様
 衛藤 進吉 様
 遠藤 寿代 様
 大浦 勝 様
 大関 美恵 様
 大根田 豊子 様
 小倉 信夫 様
 尾谷 則昭 様
 落合 美子 様
 小野寺 ほさな 様
 小原 由紀男・あさえ 様
 カーちゃん食堂 様
 柿沼食販 様
 風間 潤一郎・咲美 様
 加須地区
 更生保護女性会 様
 金杉 保枝 様
 金丸 琢美・淑子 様
 金子 武・照子 様
 金子 良子 様
 鎌田 誠一・幸子 様

医療法人おひさま
 川手 一宏 様
 川股 忠・京子 様
 神成 与四雄 様
 菊池 千代子 様
 九法 房江 様
 久保田 宏子 様
 久保島和市・禎子 様
 黒坂 恵美子 様
 黒田 泰子 様
 CCJ 恵泉伝道所
 日曜学校 様
 CCJ 古河伝道所 様
 ㈱こぐま社 様
 小林 隆雄 様
 小林 恒雄 様
 小林 泰彦・千寿恵 様
 小林 千春 様
 小堀 朋子 様
 金野 柳一 様
 佐々木 光香 様
 笹原 捷夫 様
 幸手桜高等学校 様
 佐藤 幸一 様
 佐藤 潤 様
 佐藤 澄江 様
 佐藤 大輔 様
 佐藤 直毅 様
 佐藤 英和・志奈子 様
 佐藤 ヨシ江 様
 佐藤 淑子 様
 沢崎 玲子 様
 サンライズクリニック
 盛川 宏 様
 しずくの会
 石井 喜久子 様
 しのはら歯科医院
 篠原 真 様
 清水 佐知子 様
 下邑 裕子 様
 スーパーヘアー 様
 須加 茂夫 様
 鈴木 順子 様
 鈴木 道子 様
 鈴木 俊昭・由紀子 様
 鈴木 良子 様
 須藤 繁・道子 様
 スナックやまね 様
 誠和福祉高等学校 様
 荘 杏子 様
 高橋 正男 様

田上 中・徳子 様
 滝沢 登紀子 様
 舘岡 正男 様
 田中 英子 様
 田中 順 様
 谷川 寿寿子 様
 田ノ下 千鶴子 様
 田部 郁彦 様
 田村 嘉應・範子 様
 田村 義雄 様
 茅根 愛二 様
 津久井 菱子 様
 角田金物店 様
 つばみ幼稚園 様
 CCJ 鶴見教会 様
 CCJ 鶴見教会婦人会 様
 寺本 道郎・光世 様
 CCJ 東京告白教会
 教会学校 様
 東京歯科クリニック
 大久保道子 様
 CCJ 東京主僕教会
 日曜学校 様
 CCJ 栃木教会 様
 CCJ 栃木教会
 日曜学校 様
 トミー精工 様
 留岡 薫 様
 トライアングル 様
 直井 和子 様
 中家 盾・由布 様
 中里 威 様
 中澤 寿雄 様
 中村 和子 様
 中村 トク子 様
 中村 淑江 様
 中村 弘明 様
 中村 美知子 様
 長岡 新吉 様
 ナスハウス工業 様
 西田 敏雄 様
 西 俊幸・とき子 様
 西橋 直行 様
 丹羽 聖業 様
 根岸 和也 様
 橋爪 壮 様
 長谷川 恵子 様
 長谷川 拓也 様
 長谷川 雅之 様
 畑沢 芳子 様
 日向 功 様

一麦運営協力会 様
 福林 真悟 様
 平林 秀樹 様
 フェリス女学院同窓会
 東京支部 多賀礼子 様
 深谷 百合子 様
 藤倉 沖子 様
 藤田 紀子 様
 藤森 恵美子 様
 平和自動車工業 様
 帆足 嘉代子 様
 堀木 一男 様
 本田クリニック
 本田 和正 様
 増田 茂次 様
 増山 博 様
 まつだこどもクリニック
 松田 幸久 様
 松元 宏康・恵美 様
 水書 マサ子 様
 水嶋 崇 様
 水谷 啓子 様
 水深小学校 様
 CCJ 南浦和教会 様
 三宅 千恵子 様
 宮坂 育子 様
 宮坂 哲夫 様
 罇 カズミ 様
 初井 道誉 様
 森 静江 様
 森 直 様
 森田 しのぶ 様
 門馬 久美子 様
 八百茂商店 様
 安 みぎわ 様
 矢内 清六 様
 梁島 ケイ子 様
 山崎 雅代 様
 山下 廣・加代 様
 山田 智子 様
 山根 正彦 様
 山野 和 様
 吉村 佳昌子 様
 ワークスみぎわ
 保護者会 様
 渡邊 榮子 様
 渡邊 全一・茂子 様
 ※CCJ=日本キリスト教会